

食の安全について学べる商品検査施設 「コープデリ商品検査センター」来館見学者が1万人を突破

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫、会員生協:関東信越の7生協)の運営する商品検査施設「コープデリ商品検査センター」への来館見学者(オンライン含む)が、10月29日(金)に開催したオンライン学習会にて、2018年4月のリニューアルオープン以来、1万人を突破しました。



「コープデリ商品検査センター」は、1995年より稼働してきた旧商品検査センターの老朽化に伴い、2018年4月に移転・拡張した、コープデリグループ自前の商品検査施設です。独自の商品検査センターを持つことにより、検査期間の短縮、組合員への迅速な情報提供を可能にしており、2020年度は約3万件の検査を実施しました。

あわせて、定期的に学習会を開催し、商品を検査する様子をガラス越しで間近にご覧いただいたり、検査センターの役割等をパネルや動画でわかりやすく紹介したりと、組合員をはじめとする多くの方に食の安全について理解を深めていただいています。また、農林水産省、厚生労働省、食品安全委員会をはじめ埼玉県やさいたま市など、国や地方自治体の職員の視察や研修でもご利用いただけるほか、大学、高校、専門学校、特別支援学級の生徒さんの来館、栄養学や食品関連の学生の研修として、食の安全を学ぶ機会を提供しております。

コロナ禍により来館見学受付は中止とさせていただいておりますが、ホームページを活用した「在宅応援企画」のほか、オンラインでの見学を開催し、組合員・地域の皆さまに食の安全を伝え続けています。

コープデリ連合会では、今後も組合員に安心してコープをご利用いただけるよう、提供するすべての食品の安全性確保の取り組みを進めてまいります。

－ 「コープデリ商品検査センター」概要 －

所在地:埼玉県さいたま市北区吉野町2-1417

検査内容:微生物や食品中に残存する化学物質などの検査、食品の品質や規格成分の検査、食品の表示を確認する検査、施設衛生検査など。

ホームページ:<https://kensa.coopdeli.coop/>



コープデリ生活協同組合連合会 概要

【住所】埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13

【理事長】土屋 敏夫(つちや としお)

【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ

【総事業高】6,286億円(7会員生協事業高計) ※2020年度

【組合員数】518万人(会員生協組合員計) ※2021年10月20日現在

【ホームページ】<https://www.coopnet.jp/>